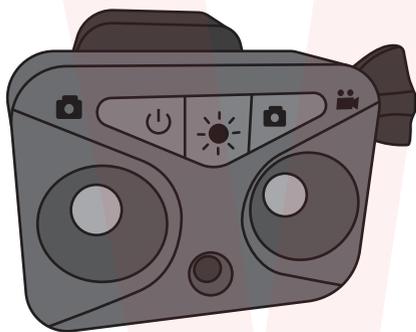


取扱説明書

型番: C-BLD21B



ご利用や設定のため下記が必要です。
・microSD (32GBまで)
・PC (日付設定、Macサポート外)
・カードリーダー (日付設定)

保証期間: 購入日より6ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

●故障かな?と思ったら●

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jp に空メールをお送りください。自動返信でご案内いたします。

※**自動返信が来ない場合**
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるように設定の上ご送付ください。

QRコードを読み取り、空メールを送信できます。



不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

〒275-0024 千葉県習志野市西浜 2-3-1

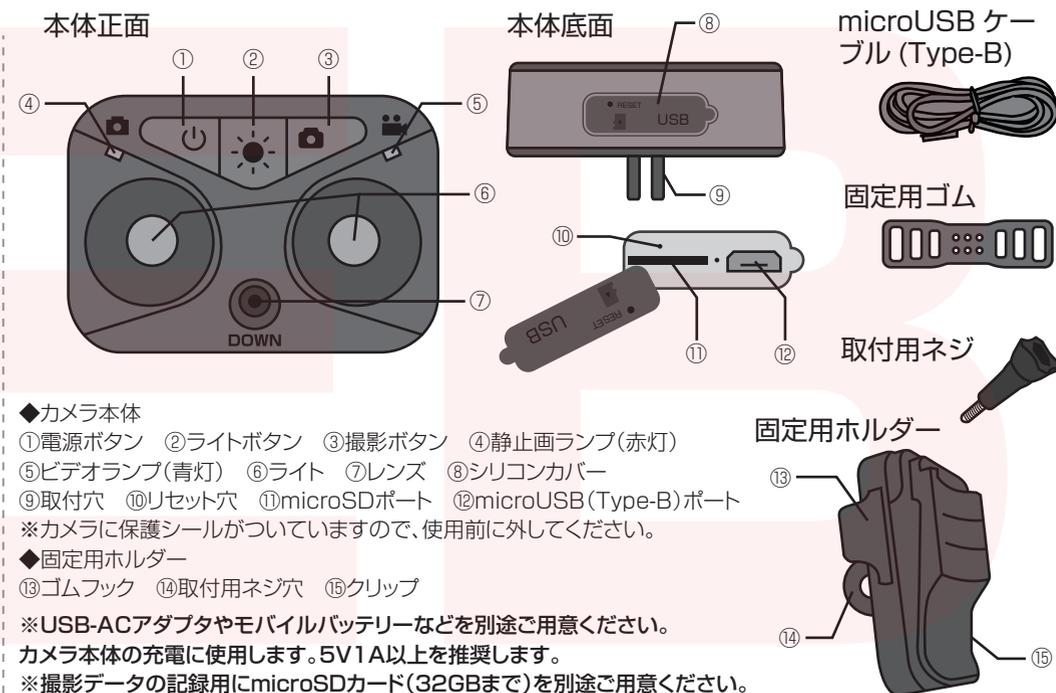
EL 内 サンコーサポート宛

TEL 03-3526-4328

(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)

お問い合わせメールアドレス: support@thanko.jp

●セット内容・各部名称



◆カメラ本体

- ①電源ボタン ②ライトボタン ③撮影ボタン ④静止画ランプ(赤灯)
- ⑤ビデオランプ(青灯) ⑥ライト ⑦レンズ ⑧シリコンカバー
- ⑨取付穴 ⑩リセット穴 ⑪microSDポート ⑫microUSB (Type-B)ポート

※カメラに保護シールがついていますので、使用前に外してください。

◆固定用ホルダー

- ⑬ゴムフック ⑭取付用ネジ穴 ⑮クリップ

※USB-ACアダプタやモバイルバッテリーなどを別途ご用意ください。カメラ本体の充電に使用します。5V1A以上を推奨します。

※撮影データの記録用にmicroSDカード(32GBまで)を別途ご用意ください。

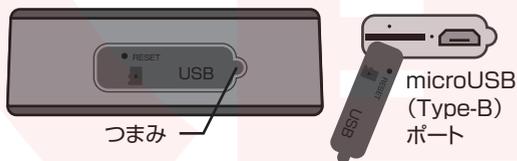
●ご使用になる前に

●初めてご使用になる際の使用手順

- ①本体を充電する(1P参照)
- ②microSDカード(別売)をパソコンでフォーマット(初期化)する
- ③本体にmicroSDカードを差し込み電源を入れる
- ④本体電源を切り、microSDカードを本体から取り出しパソコンで読み込む
- ⑤パソコンで日付スタンプ・撮影設定を行う(2P参照)
- ⑥microSDカードをPCから取り出し、本体に差し込む
- ⑦自転車で本体を取り付ける(2P参照)
- ⑧本体の電源を入れて、使用開始

●充電方法

①本体底面にあるシリコンカバーのつまみをつまんでmicroUSB (Type-B)ポートを出す。



②本体の micro USB Type-Bポートに、付属のUSBケーブルを接続します。
※上下の差込向きにお気をつけください。

③USB端子をUSB-ACアダプタ(別売)やモバイルバッテリー(別売)に挿し込むと、ピーと音が鳴りビデオランプ(青灯)と充電部のランプ(赤灯)が点灯します。満充電になると全てのライトが消灯します。

※充電環境は5V1A以上を推奨します。

●microSDカードについて

本体が充電された状態(USBケーブルを繋いでいない状態)で以下の作業を行ってください。

①本体底面にあるシリコンカバーを外すと、microSDポートがあります

②microSDカードの印刷面が本体裏側になるように、カード挿入口にセットします。(右図参照)カチッと音がするまで爪先で押し込んでください。

カードを抜く時は、カードを爪先で少し押し込むとカードが出てきますので、掴んで抜いてください。

③本製品を初めてご使用の際は、microSDカードを本体に差し込んだら一度電源ボタンを押して本体の電源を入れてください。その後電源ボタンを長押しで本体電源を切り、microSDカードを取り出した後、パソコンで読み込み、日付スタンプなどの撮影設定を行ってください。(2P ●日付スタンプ・撮影設定 参照)

④各設定の完了後、microSDを再度本体に差し込み、シリコンカバーを閉じて使用してください。

※初めてカードをご使用の際は、パソコンなどでmicroSDカードのフォーマット(初期化)を行ってからご利用ください。

・microSDカードは、必ず本体の電源を切った状態で抜き差ししてください。

・microSDカードはClass 10以上を推奨します。Class 10未満の場合、正常に録画できない場合があります。

・microSDカードの最大対応容量は32GBです。32GB以上のものは使用することはできませんが、カードの種類によっては使用できないものがあります。32GB以上のものを使用した場合の動作に関してはサポート外とさせていただきます。

・microSDカード以外の物は挿入しないでください。カードの向きに注意してください。またカードの金属端子部分には触れないでください。

動作環境温度を超える駐車の場合は、カードを抜いてください。熱により故障のおそれがあります。

・microSDカードは、本体温度の変化が著しい場所で使用した場合、正常に動作しない場合があります。

※**ドライブレコーダーの記録用microSDカードはとても過酷な条件で働いています。必ず1～2ヶ月に1回フォーマットをしてご利用ください。**

● 日付スタンプ・撮影設定

①microSDカードを本体に挿入し、カメラの電源を入れると、「userConfig.txt」というファイル名のドキュメントがmicroSDカードに自動的に組み込まれます。

②microSDをPCに接続し、「userConfig.txt」のデータを開くと下記の内容のようなテキストが入っています。

2021-04-11 17:06:35 F C
年 月 日 時 分 秒 保存設定
解像度

③テキストを正しい日付・時間に変更します。設定している時点での正しい日付・時間に書き換えてください。

④日付・時間の後の2文字では、撮影の設定を変更できます。

一文字目のアルファベットはFかHの入力で解像度の設定ができます。

F:カメラの解像度が1080pでビデオ撮影

H:カメラの解像度が720pでビデオ撮影

二文字目のアルファベットはCかNの入力で保存方法の設定ができます。

C:ループ録画(microSDカードのメモリがいっぱいになると、古いファイルから上書きして保存)

N:microSDカードのメモリがいっぱいになるとカメラがビデオの撮影を中止する

【タイムスタンプの設定について】

最初にタイムスタンプを設定すると、本体はバッテリーが完全に切れるまで日時の情報を保持します。

※バッテリーが完全に切れると日時は保持されないため、充電後再度使用する際に日時が合わなくなります。バッテリー切れの際は、次に使用する前に必ずタイムスタンプの設定をしてから再度使用してください。

※タイムスタンプの日時を遅らせる(3/1→3/9など)ことはいつでも可能ですが、日時を早める(3/1→2/26など)ことはバッテリーが完全に切れた時のみできるようになります。

【タイムスタンプの日時を早める場合】

①microSDカードをPCで読み込み、タイムスタンプ設定用のテキストデータに日時を入力し保存する。

②本体のバッテリーが完全に切れた状態で、SDカードを本体に挿入し、本体充電を開始する。

※充電が完了するまで、SDカードは本体から抜かないでください。

③充電が完了したら、通常通り使用を再開してください。

● シティサイクルへの取付について

取り付けたカメラの前方に自転車の部品などの障害物がないことが必要になります。シティサイクル(一般的にママチャリと呼ばれる自転車)に取り付けた場合、自転車のタイヤによって視界が大幅に遮られる場合があります。



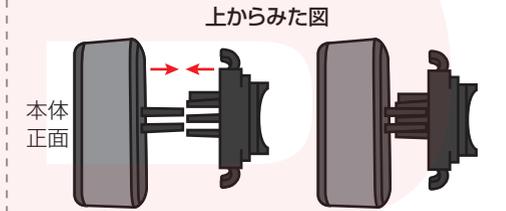
● 自転車に取り付ける際の注意

自転車に取り付けるライトは、各都道府県の法規で定められています。各都道府県の法規を確認の上自転車に取り付けてください。

● 取付方法

● 固定用ホルダーの本体への取り付け方

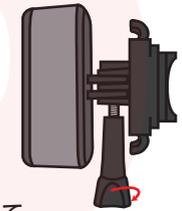
①本体背面の取付穴と固定用ホルダーの取付用ネジ穴を下図の通り合わせます。



②合わせた取付穴の本体正面向かって右側(右図参照)から取付用ネジを通して時計回りに回し、固定用ホルダーを本体に取り付けます。

※取付用ネジの締めりがゆるいとカメラが上下にぶれますのでしっかりと締めてください。

※ねじを反対側(本体正面向かって左側)から締めてしまうと、カメラの角度を固定できません。



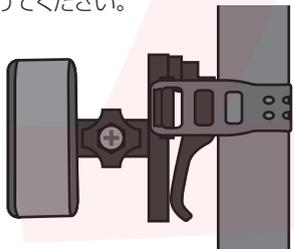
● 取付方法

● 固定用ゴムを使用してポールなどに取り付ける場合

①固定用ゴムを固定用ホルダーのゴムフックの片側に引っ掛けます。



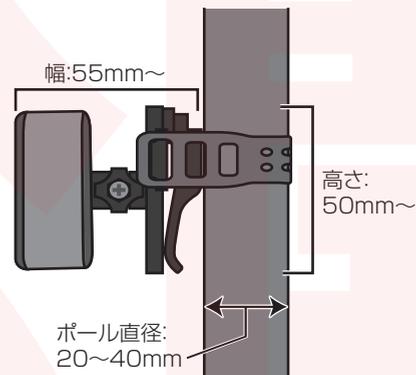
②固定用ホルダーを取り付けたいポールに当てて、固定用ゴムを巻き付けて反対側のゴムフックに引っ掛けて取り付けてください。



※取り付けたいポールの太さに合わせて、固定用ゴムのフックに引っ掛ける穴を変えて取り付けてください。

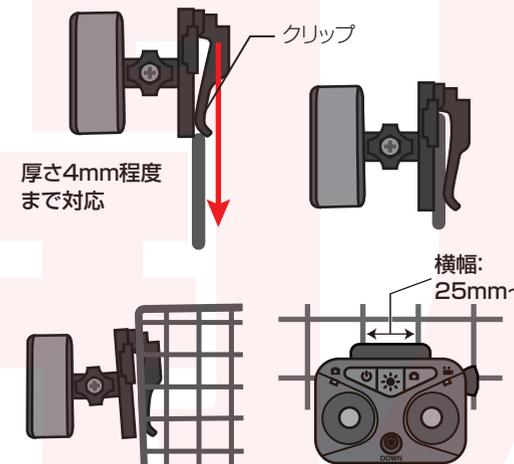
取付可能な場所

本製品は下記条件を満たす場所に取り付け可能です。



● クリップで挟んで自転車カゴなどに取り付ける場合

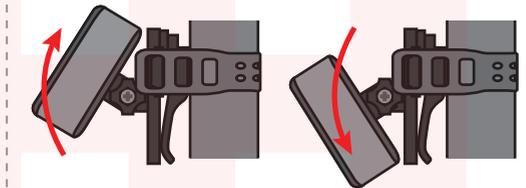
固定用ホルダーを本体に取り付けた状態で、クリップに自転車カゴなどを挟み込み取り付けます。



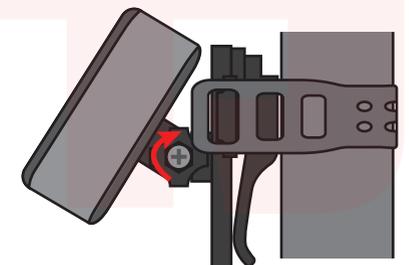
※クリップで自転車かごに取り付ける際は、かごのサビ防止フィルムなどが割れないようご注意ください。

● カメラの角度を調整する

①固定用ネジを反時計回りに回して緩めることで、カメラの角度を調整することができます。



②好きな角度に調整したら、再度固定用ネジを時計回りに回して締め、カメラを固定してください。



● 動画撮影

- 撮影スタート
①電源ボタンを押す
→ピーと音が鳴りビデオランプ(青灯)が点灯し、ビデオモードになります。
②撮影ボタンを押す
→ビデオランプ(青灯)が点滅し、撮影が開始します。

- 撮影ストップ
撮影ボタンを押す
→ビデオランプ(青灯)の点滅が止まって点灯し、撮影がストップします。
※microSDカードが入っていないと、撮影ボタンを押してもビデオランプ(青灯)は点滅せず、撮影は開始されません。

動画は1分1ファイルで連続して撮影します。
microSDカードがいっぱいになると、古いファイルから上書きして保存します。
※上書きしたくない場合はPCで保存設定を行ってください。(1P ●日付スタンプ・撮影設定 参照)

● 静止画撮影

- ビデオモードから静止画モードに変更
①電源ボタンを押す
→ピーと音が鳴りビデオランプ(青灯)が点灯しビデオモードになります。
②再度電源ボタンを短く1回押す
→静止画ランプ(赤灯)が点灯し静止画モードになります。

- 静止画撮影
静止画ランプ(赤灯)が点灯している静止画モードの状態、撮影ボタンを短く一回押す
→ピーと音が鳴り静止画ランプが1回点滅し、静止画を1枚撮影します。
※microSDカードが入っていないと、撮影ボタンを押しても静止画ランプ(赤灯)は点滅せず、静止画の撮影はされません。

● 電源オフ

電源が入っている状態で電源ボタンを長押しすると、ピッと音がなりモードのランプが消灯し、電源が切れます。電源が切れてもライトのみ使用ができます。ライトが点灯している状態で電源を切っても、ライトは消灯しません。

● データ再生

- microSDカードをPCに入れて読み込む
①電源が切れた状態でmicroSDカードを本体から取り出します。
②カードリーダー(別売)などでmicroSDカードをパソコンに読み込みます。

通常microSDカードを接続すると自動的にフォルダが表示されます。

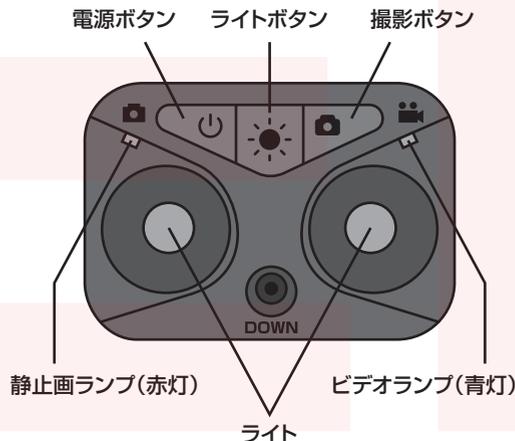
表示されない場合は以下の方法を行ってください。

- Windows7 以下の場合
スタートボタン→コンピューターをクリックします。
- Windows8 の場合
アプリ一覧→PC をクリックします。
[リムーバブルディスク]をダブルクリックします。
- Windows10 の場合
スタートメニュー→エクスプローラー→[デバイスとドライブ]で[USBドライブ]をダブルクリックします。

※本体から直接、USBケーブルをPCに繋いでmicroSDカードを読み込むこともできます。
付属のmicroUSBケーブル(Type-B)をPCと本体で繋いでください。

● ライトの使用方法

ライト機能のみの使用もできます。(電源が入っていない状態や撮影中であっても使用できます。)
ライトボタンを押すごとに、ライトの種類が変わります。
OFF→赤点灯→赤点滅→白点灯→OFF…



● 操作方法まとめ

- 電源ボタン
電源OFF時に1回…電源が入りビデオモードになる(ピーという音が鳴る)
電源ON時に1回…カメラモード/ビデオモードの切替(音無し)
電源ONの状態でも長押し…電源OFF(ピッと音が鳴る)

- ライトボタン
1回…ライトの点灯パターン変更(音無し)

- 撮影ボタン
ビデオモード時…ビデオランプ点滅→動画撮影開始(音無し)
動画撮影中…ビデオランプ点灯で撮影停止→ビデオモード(音無し)
静止画モード時…静止画ランプ1回点滅→静止画1枚撮影(ピーという音がなる)

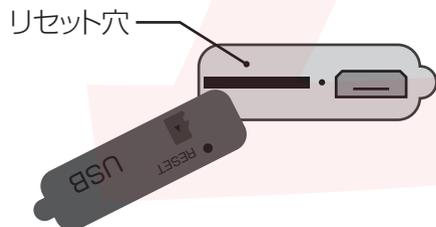
※動作音を消すことはできません。
※電源、撮影状況に関係なく、ライトのON/OFFやパターン変更は可能です。

● バッテリー残量について

カメラのバッテリーがなくなると、ライトが消灯し、撮影も止まり電源がオフになります。その後電源ボタンを押しても電源がつかなくなります。
その場合は電池切れとなりますので、取扱説明書1Pにある手順通り充電してください。

● 本体のリセットについて

本体の動作が不安定になった時やその他の特別な理由でカメラが応答しない場合は、細い針のようなものでリセットボタンを押して本体のリセットをしてください。



● ファイルについて

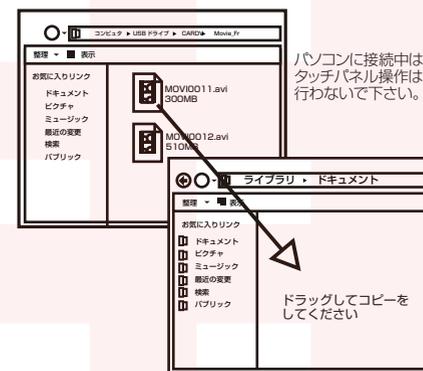
- ◆フォルダ構成について
VIDEO:動画データ
PHOTO:写真データ
userConfig.txt:タイムスタンプ・撮影設定用テキストデータ
- ◆再生について
ファイルをダブルクリックすると自動的に動画の再生が始まります。

出力した動画がご使用のパソコンでうまく再生されない場合は以下の動画再生ソフトをお試しください。
弊社では Codec のインストール不要な、GOM Player での再生を推奨しております。
正常に再生されない場合は「GOM Player」(無料)をインストールして動画の再生をご確認ください。
<http://www.gomplayer.jp/player/>

※GOM Player の使用方法や動画再生ソフトに関するお問い合わせなどは弊社サポート外となります。
再生方法など詳しい使用方法はご案内しておりませんので、検索などをしてご確認ください。

● データのコピーと削除

撮影したデータをパソコンにコピーする場合は、下記のように保存したい場所へ(この例ではドキュメントフォルダ)ドラッグしてコピーをしてください。



データをごみ箱に入れた場合は、即削除されますのでご注意ください。撮影したデータを再生中の場合は、削除をすることができません。再生を停止した後、ごみ箱に入れてください。

● フォーマットと取り外し

■フォーマットについて (microSD カードの初期化)

「マイコンピューター」から、本製品の「リムーバルディスク」を右クリックしていただき、表示されたメニューからフォーマットを選びフォーマット、またはクイックフォーマットを行ってください。

※必要なデータは事前にハードディスクなどへ保存後、フォーマットを行ってください。

カードをパソコンから取り外す際は、必ずタスクバーに表示されている(画面右下の時間表示の左側に表示されます)「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをクリックしてください。

メニューの指示に従い、ドライブを選択して取り出しの文字をクリックするか、「USB Mass Storage Device」の取り出しの文字をクリックしてください。

しばらくすると、安全に取り外しができるメッセージが表示されます。その後、パソコンからカードを取り外してください。

ファイルの書き込み中等に、いきなりパソコンから取り外すと、ファイルの破損に繋がりますので、ご注意ください。

● Macでのご使用について

※MacOSの場合、タイムスタンプの設定が正しく行われなかったり、タイムスタンプがずれたりする場合があります。

※また、MacOSの場合、保存されたデータの再生やコピーなどは問題なくできる場合が多いですが、Macでのご使用についてはサポート外とさせていただきますので、予めご了承ください。

● 電池のリサイクルについて



Li-ion

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品を廃棄・リサイクルする場合は、地方自治体の指示に従ってください。

● 仕様

| | |
|-----------|---|
| サイズ | カメラ:幅62×高さ45×奥行41(mm) 固定用ホルダー:幅55×高さ53×奥行30(mm) |
| 重さ | 約80g(固定用ホルダー含む) |
| 付属品 | 本体、固定用ホルダー、固定用ゴム、取付用ネジ、microUSBケーブル(Type-B)、日本語説明書 |
| 電源 | USBより充電及び給電(5V1A以上推奨) |
| バッテリー | リチウムイオンバッテリー 500mAh |
| 充電時間 | 約1時間半 |
| 稼働時間 | 録画:約2時間半 ライトのみ:約12時間半 |
| 画角 | 80度 |
| 記録メディア | microSDカード(別売) 最大対応容量32G(SDHC規格:FAT32でフォーマット) |
| 撮影ファイル | 動画 形式:AVI 1920x1080 30fps/1280x720 30fps 静止画 形式:JPG 1600×1200 |
| 防水性能 | 生活防水相当(自社調べ)水深約10cmに約15分沈め、浸水は確認されず問題なし |
| 取付可能サイズ | ボール直径:2~4cm程度 クリップ取付可能な厚さ:4mm程度まで |
| マイク/スピーカー | マイク:内蔵 スピーカー:無 |
| ライトモード | 赤灯・赤点滅・白灯 |
| 動作温度 | 0~40℃ |
| 保管温度 | 10~35℃ |
| パッケージサイズ | 幅85×高さ96×奥行46(mm) |
| パッケージ辺重 | 約115g |
| 保証期間 | 購入日より6ヶ月 |

※記載されている物以外は付属いたしません。 ※この取扱説明書は大切に保管してください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに必ず保管してください。他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。 ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、保証の対象外となります。 ※ご使用中においてのお客様の過失による故障、破損、改造等はサポート保証の対象外となります。 ※正しく使用されない場合に生じた事故等について弊社での責任は負いかねます。 ※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。 ※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

● バッテリーの充電・保管について

- 内蔵バッテリーは、充電して保存しても自然に放電しますので、使用する直前または前日頃に充電してください。
- 充電するとき、周囲の温度が10℃~30℃(人間が快適と感じる温度)の範囲で充電してください。
- バッテリー充電ポート・USBポートに水分や金属等、異物が付いていないか確認してから充電してください。
- 温度が低くなるほど充電しにくくなり、内蔵バッテリーを消耗させます。また、高温では十分な充電ができません。
- 充電中や使用中、内蔵バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 保管するときは約50%充電状態で保管してください。
- 内蔵バッテリーは自然放電しますので使い切った状態で保管すると使用できなくなる恐れがあります。
- 保管の際は次のように保管してください。
バッテリーを使い切った状態の後、充電ケーブルを差し、1時間半ほど充電してケーブルを外してください。
- 高温条件、過放電(電池を使い切った状態)、過充電(満充電でも充電器につないだままの状態)状態での保存はしないで下さい。
- 半年に最低一度は必ずご使用ください。消耗の防止になります。
- 10℃~35℃の乾燥した場所で保管してください。
- 本製品の充放電サイクル数は300回です。充電が切れるのが早くなった際は充電電池の寿命です。

● microUSBケーブルの取扱いについて

- USBプラグやUSBコードを交換したり、傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。
- 傷んだUSBプラグやUSBコードは絶対に交換、分解、修理改造をしない。
- USBプラグやUSBコードが破損した場合は直ちに使用を中止する。
- USBプラグは根元まで確実に差し込み傷んだUSBプラグやUSBコードは使わない。
- ぬれた手でUSBプラグを抜き差ししない。
- 使用時以外はUSBプラグを差したままにしない。
- 持ち運び時や収納時にUSBコードを引っ張らない。
- USBコードを機器にはさまない、USBコードを引っ張ったまま使用しない。
- 本体、USBプラグにほこりが溜まっていないか定期的に点検する。
- USBプラグ、USBコードの差しこみがゆるい時は使用しない。
- 充電中USBコードの上に物をのせない。
- USBプラグの抜き差しは、先端をもって行い、USBコードは引っ張らない。
※使用中USBプラグやUSBコードが異常に熱くなったり煙や異臭が出るようなときは直ちに使用を中止してください。

⚠️ ご注意

- ※本体の操作を行う場合は、安全な場所で停止後に行ってください。
- ※カードエラーが表示された場合は、microSDカードに問題が起きております。別のmicroSDカードをご用意いただき、交換してご利用下さい。(microSDカードは消耗品となります)
- ※使用の際は、必ず正常に動作しているかをご確認の上、ご利用をお願いいたします。
- ※音を消すことはできません。
- ※本製品をご利用において生じるデータの破損は補償の対象外となります。
- ※本製品を使用したこと、あるいは使用出来なかった事により発生した損害に対し弊社では一切の責任を負いません。
- ※本製品は日本販売向けの商品となります。海外でのご利用はサポート外となりますのでご了承下さい。
- ※分解しないでください。
- ※落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ※高温/多湿/火気近くで保管、使用しないでください。
- ※異常を感じたらご使用をやめてカスタマーサポートまでご連絡ください。
- ※本製品は事故を防止する装置ではありません。

- ※すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ※本機の録画映像は事故等の証拠として効力を保証するものではありません。
- ※本製品は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。
- ※保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます。本製品の故障または使用によって生じた保存データの消失、破損等については保証するものではありません。
- ※本機で録画・撮影した映像は使用方法によっては非撮影者の肖像権・著作権・プライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが弊社は一切の責任を負いません。
- ※静電気や電気ノイズ、長期間使用しなかった場合など撮影されたデータが破損する恐れがあります。
- ※自転車から離れる場合には、いたずらや盗難防止のために本機を取り外し持ち歩くことをお勧めいたします。万が一の場合に、弊社としては一切の責任を負いません。